カトリック幟町教会報
平和の鐘
2020年
6月
No.503

幼子のように（マタイ 18:3）

助任司祭　久保裕己 神父

幟町教会の皆様、4 月から助任司祭としてこちらの小教区に赴任いたしました、久保裕己です。着任早々、新型コロナウイルスの影響で YouTube 配信を除く殆どのミサが無くなり、信徒の皆様との交流も持てず、残念な思いで過ごしておりました。叙階されて、いざ司祭としての役目を果たすぞと意気揚々と引っ越してきたのに、なんだか肩透かしをくらったような思いです。

それにしても、この状況は多くの信徒の皆様にも多大なる影響があったことでしょう。一歩一歩着実に以前の活気ある教会の姿を取り戻せるよう励まし合い、祈り合う共同体でありたいと思っています。

３～４か月前に感染拡大が騒がれる以前、病院を訪れることがありました。待合室で診察を待っていると、一人の男の子がお母さんと一緒にやって来て何やら楽しそうに話をしています。そのうち受付の方に呼ばれて、「今日は予防接種ですね」と確認されると男の子の顔が曇り始め、ついに泣き出してしまいました。おそらく注射をされることに気付いたのでしょう。「ヤダー！嫌ダー！」、「お母さんキライ！」とまで叫びながら奥に連れていかれました。お母さんは男の子が泣こうが喚こうが手を引っ張って連れて行きます。そのうち待合室まで聞こえるような断末魔が響き渡り、少し収まったと思ったら涙で目を腫らした男の子がお母さんに抱っこされて出て来るではありませんか。そして「お母さんなんか嫌い」とか細い声でぼやきながらも、男の子はしっかりとお母さんの胸にしがみついているのです。

おそらくこの男の子にとって予防接種の目的なんて分からないでしょう。腕に針を刺される拷問にしか感じられなかったでしょう。大好きなお母さんがそれをさせる理由なんて全く理解できていないでしょう。口では「嫌い」と言いながらもお母さんにしがみ付くほどお母さんが好きだったのでしょう。

私たちは今、新型コロナウイルスの感染拡大によって苦しんでいます。何故、神様がこんなにも私たちを苦しめるのか理解できません。理由なんて分かりません。多くの方が苦しめられていますが、どうすべきか全く分かりません。でも神様は母親がそうしたように、子供である私たちが全く理解できなくともそれをなさるのです。

今、私たちがするべきことは「神様、どうして？」・「神様嫌い」とか文句を言いながらでも、神様の胸にしがみ付くことです。子供にはどんなに理解できない事であっても、「神様が愛する子どもの為には必ず良い計画があるのだ」と信頼する姿が求められているのです。あの男の子が母親にしがみ付いていたように、今こそ神様にしがみ付きながら、心の底から叫ぶ時です

コロナ禍の中で

幹事会からの報告

白浜司教様からの『新型コロナウイルス感染症の防止対策の方針』の通達を受け…

教区（平和の使途推進本部）で、４月５日受難の主日（枝の主日）からインターネットを使ったミサの映像配信することが決まり、幟町教会も協力することになりました。

私たちの共同体が主日に集えないことはとても悲しいことですが、経験したことのない未知のウイルスから一人一人の命を守るために非公開となるミサについて、幹事会でも神父様方と協議を続けました。幹事全員、ミサの中止は初めての経験で戸惑いましたが、私たちの共同体を守るため、何ができるかを考え、いろいろな提案を出し合い、手探りでできることから実行することにしました。

４月５日受難の主日（枝の主日）から映像配信は始まりました。この日のミサは公開され、信徒同士の接触を少なくするための工夫がなされ、聖堂入口では手の消毒も行われ、なるべく離れて座るようにとの案内もありました。翌日からはミサが非公開となり、復活徹夜祭では非公開の中、関係者のみが参列して洗礼式が行われました。翌日の復活祭のミサも非公開。ミサ後の家族デー・パーティも休止となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大で司教通達により「信徒は参列しない」配慮がなされ、当初は先唱者、朗読者、侍者、聖歌隊、香部屋等の担当者だけ参加していましたが、その後、感染拡大が強まり「司祭団のみで実施」に変わっていきました。

信徒全員に向けてミサと同時刻の映像配信では、高齢者や聴覚障がいの方が見ても分かるように字幕や手話通訳が加えられ、映像スタッフの努力により、ミサの配信を続けてくださっています。

その他、教会事務所や信徒の協力で、一斉メールやホームページによりお知らせを発信していただいています。状況が日々変わっていく中で、急に決まったり、課題も多々あったりしますが、みんなで協力して、なるべく多くの方にお伝えできるようにしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

なお、高齢や病者の方でご聖体をご希望の方は、司祭・奉仕者がお届けしますので、教会事務所までご連絡ください。

信徒の皆さんに必要なお知らせをお伝えするために・・・（実施したこと）

① ミサの非公開により、ライブ配信チームによる**主日ミサのライブ配信**。
② 教会事務所からコロナ対策関係のお知らせを**週報・ホームページ（HP）**と**一斉メール**（約323名登録）で配信。
③ **週報・「聖書と典礼」**をマリアホール内の**ボックス（引き出し）に毎週配布（5/24 まで実施）**。
④ 幟町教会の取り組みとして、**毎週日曜日 9 時 30 分「霊的聖体拝領の祈り」、毎日7時・12 時・18時に「アレルヤの祈り」を唱えて心ひとつにつながりましょう**、の呼びかけ。**6月1日からは「お告げの祈り」と「霊的聖体拝領の祈り」となる予定です。**
⑤ 教会学校・・・**HPに教会学校の枠**を設けてもらい、連絡ニュースを配信。
⑥ 社会部・・・**ホームレスの方に食料・衣料・手作りマスク支援**を４月 26 日、幟町公園で実施。
⑦ **HPのお知らせ欄をわかりやすくする改善**、HPへ神父様方の紹介。
⑧ **一斉メールで**久保新司祭による**「今日の祈り」**を再開（週2回５月19日より配信）

ライブ配信の映像

今後の課題について…

高齢の方、ご病気の方、ホームページや一斉メールを見られない環境の方に、どうやって

お知らせして教会と繋がっていけるかを早期に検討します。

最後に信徒の皆様へのお願い

・新型コロナウイルスの感染予防のために、マスク、手洗い、うがい、換気、３密（密閉、密集、密接）等に十分気をつけてお過ごしください。

・信徒の皆様は、知人・グループ・同じ地区の方々等に、出来れば毎日誰かへ連絡してお話をして繋がっていただきたいと思います。

・一斉メールの登録

・広島教区のホームページにも各小教区の取り組みが紹介されています。参考にしてください。

●映像配信の QR コード →

一斉メールの登録方法

1 nobori@mhai.jp に件名も本文も入力せず、空メールを送ります。

2 しばらくして、カトリック幟町教会から折り返しメールが届きます。
リンクを開いて必要事項を登録します。

3 本登録完了後、幟町教会から完了通知が届きます。
（＊折り返しメールが届かない場合は、パソコンからのメール受信を拒否する制限をかけていることが考えられます）

＊メールアドレスなどご提供いただいた情報は、幟町教会からのお知らせを送るために限定して使用いたします。

コロナ禍の中で　社会部からの報告

社会部（炊き出し担当）
YE

新型コロナウイルス感染予防のため今年２月末、広島市内では多くの生活困窮者支援団体が行政より自粛を要請され活動休止になりました。

そのような中で４月のカレーライス大会（炊き出し）を開催するかどうか社会部で検討しました。

その結果、カレーの提供は中止、パンや果物と衣類のみの提供をすることにしました。

配布時はソーシャル・ディスタンスが取れるよう袋詰めした食べ物は大きな箱に入れ、衣類はブルーシートに並べて置き公園に来た方々が自ら持ち帰って頂く方法にしました。

このような形での実施に荻神父様から了解を頂きました。

当日幟町教会の信徒から手作りマスクのご寄付があり一緒に配布することが出来ました。

社会情勢のため、生活困窮に陥った人々を誰も助けてくれない時に、助けるための教会の行動は『社会へのチャレンジ』の最初の目標「いのち（神との関係）」を達成する活動になっていると感じました。

＊2014 年から教区創立 100 周年を迎える 2023 年にかけて「チャレンジ 新しい宣教～わたしをお使いください～」を教区宣教司牧テーマとして掲げ①家庭へのチャレンジ（2014 年～2016 年）②教会へのチャレンジ（2017 年～2019 年）2020 年からは新たな段階である③社会へのチャレンジ（2020 年～2022 年）を迎えます。（平和の使徒推進本部抜粋）

公開ミサの再開にあたって、皆さまのご協力をお願いします。

主日のミサは５月 31 日から公開となりました。
まだ新型コロナウイルスの感染が終息した訳ではありませんので、お互い感染しないように、させないように、下記の点に十分気を付けて、ミサにあずかってください。

参加に当たって次の4点をお守りください

・体調の悪いときは参加しない
（高齢や基礎疾患があって感染が不安な方も参加を控えてください。）
・熱を計ってから参加する
・ミサ前の手洗いとマスク着用
・三密（密集、密接、密閉）を避ける（人と人との距離をとる）

これまでのミサと異なること

1 入堂にあたって（今後の状況により変更します）

②名前カード記入
②検温、マスク確認!!
③献金（献金箱に入れる）※
④アルコール消毒
⑤週報、「聖書と典礼」を取ってもらう
⇒聖堂へ前から詰めて座る。

※ミサ中献金は当面中止しますので、聖堂に入るときに献金箱にお入れください。

2 ミサ中の対策

① 着席

足元に黄と赤の印があります。間隔を開けて、前列から順番に座ってください。

② 聖体拝領

・聖堂中央通路に印テープを貼っています。印に従って十分距離を確保しながらお並びください。

③ 聖歌

・聖歌隊がマイクで歌います。会衆は飛沫感染を防ぐため、小さな声で歌ってください。
・会衆用の聖歌集は感染防止のため当面、使用しません。（歌詞はスクリーンに映します）

④ 聖書と典礼

・週報、「聖書と典礼」は感染防止のため、必ず持ち帰り、戻さないでください。

3 人数の制限

1回のミサの人数を100人以下に制限します。
・ミサは4回ありますので、各自で分散参加を検討してください。（大聖堂）
土曜日：18:30
日曜日：7:30、9:30、14:30〔英語〕
・聖堂に入れなかった場合は、多目的ホールでライブ配信を見ていただきます。
・ミサに来ることができない方のために、ライブ配信は当面続けますのでご活用ください。
・ミサ後,使用した座席等消毒清掃します。
皆さん御協力ください。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、生活も大きく変わりました。ネットの進化で会議等も便利になった反面、顔や表情、声のトーン、場の雰囲気などで伝わっていたことが伝えられなくなっています。言葉の選び方、伝え方を、今まで以上に気を配らねばいけないと思っています。（ひ）

カトリック幟町教会

〒730-0016　広島市中区幟町 4 番 42 号
電話　082-221-0621
ファクス　082-221-8486
ホームページ　http://noboricho.catholic.hiroshima.jp

ミサの時間

日曜日　7:30、9:30、14:30～（英語）
第 1 日曜日　15:00（ポルトガル語）
第 4 日曜日　11:00（ベトナム語）
月の最後の日曜日　17:00（スペイン語）
平日　7:00　　金曜日　7:00、10:00
土曜日 7:00、18:00（主日）

主任司祭　荻 喜代治 神父
助任司祭　久保 祐己 神父
助祭　カンダ・ケジェ・シルベストレ助祭

シスター　小野島照子（援助修道会）